

障害者への新型コロナウイルスワクチン優先接種嘆願への協力依頼

令和3年4月19日

代表世話人：	にこにこハウス医療福祉センター	施設長	河崎洋子
世話人：	西宮すなご医療福祉センター	院長	田中勝治
	医療福祉センターのぎく	院長	安岡俊介
	医療福祉センターきずな	院長	常石秀市
	医療福祉センターさくら	院長	服部益治
	重度障害総合支援センタールルド	センター長	宮田広善

新型コロナウイルス感染症の出現から1年余りが経過しました。障害を抱える方々とそのご家族にとって、感染の恐怖にさらされ続ける1年であったと思います。日本でもワクチン接種が始まり、ワクチンの普及しているイギリスやイスラエルが感染をかなり押さえ込めているという状況より、先の見えない闇からようやく光が見えてきた所です。しかし、変異株の拡大により兵庫県は大変厳しい感染状況に陥り、障害者事業所でのクラスターが増えています。様々な障害を抱える方は、ケアの個別性がかなり高い事や、環境の変化への適応が困難である事から、付き添い者不在で慣れない病院への入院が困難であり、クラスターになった事業所では多くの感染者が施設内待機もしくは自宅療養を余儀なくされています。さらに、高齢化が進んでいる介護者であるご家族への感染拡大から大変厳しい状況となっています。

新型コロナウイルスワクチンの障害者への接種は、高齢者の次の優先順位となっているため、兵庫県の状況では7月以降になるのではと思われます。しかし、障害者施設でのクラスター予防の観点から、一部の自治体では高齢者と並行して障害者施設利用者への接種が計画されているようです。変異株が猛威を振るう兵庫県でも障害者への接種が高齢者と並行して一日でも早まる事を願い、兵庫県重症児者6施設より兵庫県知事に4月21日嘆願書を提出予定です。つきましては、趣旨に同意いただける方々に署名のご協力をよろしく申し上げます。

一日も早い接種を目指しますので、署名用紙の提出を早急に行いたいと思います。ご協力よろしく申し上げます。